

函館臨床福祉専門学校

学校関係者評価報告書

(平成29年度)

学校法人西野学園

函館臨床福祉専門学校

学校法人西野学園 函館臨床福祉専門学校 学校関係者評価報告書について

学校法人西野学園は、平成24年度より学校自己評価を行い本学園のホームページ上に公表いたしました。

また、平成27年度からは本校に関係の深い方々からご意見を頂戴し今後の学校運営に反映させ、改善を図るべく「学校関係者評価」を実施して、今年で3年目になります。学校関係者評価委員会では、第三者の視点に立った、多くの貴重なご意見、ご指導を賜り、改めて学校関係者評価の重要性を認識した次第です。ここに学校関係者評価の内容についてご報告いたします。

今後もより良い学校運営、教育活動を目指し、教職員一同尽力して参りますので、関係者の方々をはじめ皆様の、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年3月

函館臨床福祉専門学校 校長 佐藤 久道

「学校関係者評価」の実施について

今回は「平成28年度 学校自己評価」に基づき、学校関係者評価委員会の方々に評価して頂きました。

各評価委員には、事前に「平成28年度 学校自己評価」を配布した上で、学校関係者評価委員会でご意見を頂戴しました。

評価頂いた結果に対しては速やかに改善策を構築し、今後実践していく所存です。

その内容について要約の上、次のとおり報告いたします。

学校関係者評価委員名簿

氏名	所属
廣畑 圭介	北海道教育大学 函館校 講師
祐川 暢生	社会福祉法人侑愛会 侑愛荘 施設長
外崎 仁美	函館市介護保険課 認定調査員 (函館臨床福祉専門学校 社会福祉科 卒業生)
河原 武則	元北海道函館水産高等学校 校長

開催日時

第1回 学校関係者評価委員会 平成29年6月20日 15時30分～17時30分

第2回 学校関係者評価委員会 平成30年3月19日 15時30分～17時30分

平成29年度 函館臨床福祉専門学校 学校関係者評価結果

項目		平成27年度 自己点検 結果	平成28年度 自己点検 結果	平成28年度 学校関係者評価結果	
I 教育理念 ・目標	1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4.7	4.8	<ul style="list-style-type: none"> ・専門学校としての学校の理念、目的、教育目標がしっかりと設定され、学生保護者等に周知されている。 ・地域全般の社会的ニーズに寄り添う将来構想となっている。
	2	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか	4.2	4.4	
	3	理念・目的・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか	4.0	4.1	
II 学校経営	4	目的等に沿った経営方針が策定されているか	4.1	4.3	<ul style="list-style-type: none"> ・組織体制が構築され、業務の効率化が図られている。 ・明確な運営祖式の下、安定した指導スタッフで揺るぎのない教育がなされている。 ・ホームページも充実しており、情報公開が積極的に図られている。 ・デスクネット、教務事務支援システム等の整備・活用により、効果的・効率的な業務が推進されている。
	5	運営組織は明確にされ、有効に機能しているか	4.1	4.2	
	6	情報システム等による業務の効率化が図られているか	3.9	4.3	
	7	学校内総合力を高めるための連携と協働体制の確立が図られているか	3.9	4.1	
	8	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4.1	4.5	
III 教育活動	9	教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4.2	4.4	<ul style="list-style-type: none"> ・定められた教育課程による「シラバス」「コマシラバス」「確認テスト」等により、レベル維持・時間確保はなされている。 ・教員間の連携・信頼関係の厚さは、学校訪問、教員の言葉の端々から感じられ、金何な指導場面もチームワークで乗り越えようとする姿勢がある。 ・成績評価は明示されており、授業アンケートの実施により評価体制は整備されている。 ・校内外の諸研修の実施、参加、報告、公開授業の実施等、能力向上が図られている。 ・学生に応じた個別的な指導が行われている。
	10	学校行事の適切な企画、円滑な運営がなされているか	4.3	4.5	
	11	授業規律を確保し、指導体制の立て直しが図られているか	4.3	4.5	
	12	関連分野の企業・施設等や業界団体等との連携により、教育課程の作成・見直しが行われているか	4.1	4.4	
	13	成績評価、単位認定の基準は明確になっているか	4.3	4.6	
	14	授業評価の実施、評価体制があるか	4.4	4.6	
	15	職員の能力開発のための研修が行われているか	4.3	4.1	
	16	クラス担任と教科担任の連携を密にし、学生の実態にあった指導法の確立に努めているか	4.1	4.5	
IV 学修成果	17	就職率の向上が図られているか	4.6	4.9	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の施設、機関と連携しながらカリキュラム上の実習の他、インターンシップに取り組むなど、実効性のある取り組みがなされ就職率の向上が図られている。
	18	退学率の低減が図られているか	3.8	3.9	
	19	卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	3.8	4.0	

V 学生支援	20	学生相談に関する体制は整備されているか	4.2	4.4	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の学生に対する質の高さ、熱心さは常に感じられる。 ・卒業生が卒業後も学校を訪れ交流を続けている姿も見られ、支援体制がうまく機能していると感じられる。 ・修学資金貸付制度の情報提供による経済的支援、保護者との連携が図られている。
	21	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4.1	4.4	
	22	保護者と適切に連携しているか	4.3	4.4	
	23	卒業生への支援体制はあるか	4.3	4.6	
	24	ロングホームルームなどを効果的に活用し、職業観の育成に努めているか	4.2	4.5	
	25	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.8	4.0	
	26	学生が自己理解、自己啓発、自己実現をするための方策が整備されているか	3.7	4.3	
VI 教育環境	27	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3.3	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房やトイレの設備の不満が散見され、快適な学習環境の整備の努力が必要。 ・図書室の活性化の努力が行われた。
	28	図書室利用の活性化が図られているか	4.1	4.1	
	29	防災に対する体制は整備されているか	4.2	4.5	
VII 学生募集	30	学生募集は適正に行われているか	4.2	4.6	<ul style="list-style-type: none"> ・募集要項などに基づいて適切に行われている。 ・新幹線開通により、東北地方の一層の掘り起こしを希望する。 ・蔦屋書店でのイベント開催等、努力は見られる。
	31	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.8	4.5	
VIII 財務	32	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.4	4.5	<ul style="list-style-type: none"> ・学生数に対応した予算編成となっており、予算の収支計画は妥当なものとなっている。
	33	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.6	4.7	
IX 法令等の遵守	34	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.1	4.8	問題なし。
	35	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4.3	4.7	
X 社会貢献等	36	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4.0	4.7	<ul style="list-style-type: none"> ・他の教育機関や福祉関係者に対して物品等を貸し出すなどの教育資源の提供による貢献をしている。 ・学生時代のボランティア活動は、人格形成上のプラスの効果があると思われるため、今後も推奨していただきたい。
	37	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4.3	4.7	

総括

- ・各項目において、おおむね良好な運営が行われていると評価できる。
- ・地域の社会福祉士専門職養成機関としての機能を十分に果たしている。
- ・教職員の志気が高く、学生一人一人への深い愛情が感じ取れる。
- ・入学者が減少している状況に対して、福祉人材の確保の観点から国及び地方公共団体の責任は大きく、行政からの福祉専門職養成校への協力、支援を要する状況である。

□